



# 神岡城リニューアルオープン

～展示がすっきり分かりやすくなりました～

神岡城は、江馬氏城館跡の1つである東町城跡の櫓台跡に建設された模擬天守で、昭和40年代に建設。鉾山資料館と旧松葉家を合わせ、「高原郷土館」として昭和45(1970)年に開館しました。

リニューアル前の神岡城は、1階に寄贈された甲冑や獅子頭、火縄銃など、2階には江馬氏館跡や神岡町内の縄文遺跡で出土した石器や土器、陶磁器などの遺物を展示。3階は神岡町の市街地を見渡せる展望台として市民に親しまれてきました。

しかし、開館から50年以上が経過して老朽化が進み、展示内容も更新されていませんでした。

一方、昭和55年の江馬氏城館跡の国史跡指定を受けて下館跡の調査・整備が実施されたこと、令和5年に傘松城跡の国史跡の追加指定が見込まれていることもあります。また、市が行った詳細な調査により、同町内で出土した縄文時代の遺跡の存在も明らかになりつつあります。こうした現状から、市民からは改修を期待する声が寄せられていました。

そこで、開館からこれまでに進んできた調査成果を詳細にまとめ、訪れる皆さんにも分かりやすく解説・紹介することで、気軽に神岡町の歴史にふれていただける改

修を行うことになりました。

一般の皆さんだけでなく、子どもも分かりやすく観覧できるような工夫をし、学校教育でもより活用していただけるようになりました。

また、神岡城には毎年、多くの観光客の皆さんが訪れることから、動画を使って視覚的に学べるコーナーを設置。さらに、近年は外国人観光客も増えていることからインバウンド対策として、動画や展示パネルに英訳を併記しました。

生まれ変わった神岡城をこの機会にご覧ください。



建設中の神岡城(個人蔵)

各階ごとにテーマを決め、  
展示を一新しました

3階

高原郷と  
城下の眺め

高さ 1.2 メートルの柵を設置して転落防止の安全対策を図り、周囲に張り巡らせてあった金網を撤去しました。これにより神岡の町並みをすっきりと見渡せるようになり、景色を解説するパネルを設置しました。

2階

神岡遺跡物語  
縄文～中世

江馬氏下館跡で出土した墨書土師器皿の精巧なレプリカを展示しています。

江馬氏下館跡で出土した遺物を展示しています。

地元で見つかった縄文土器・土偶のかけらをていねいに組み立てて復元し、展示しています。

石棒や石皿など縄文時代の石器を展示しています。

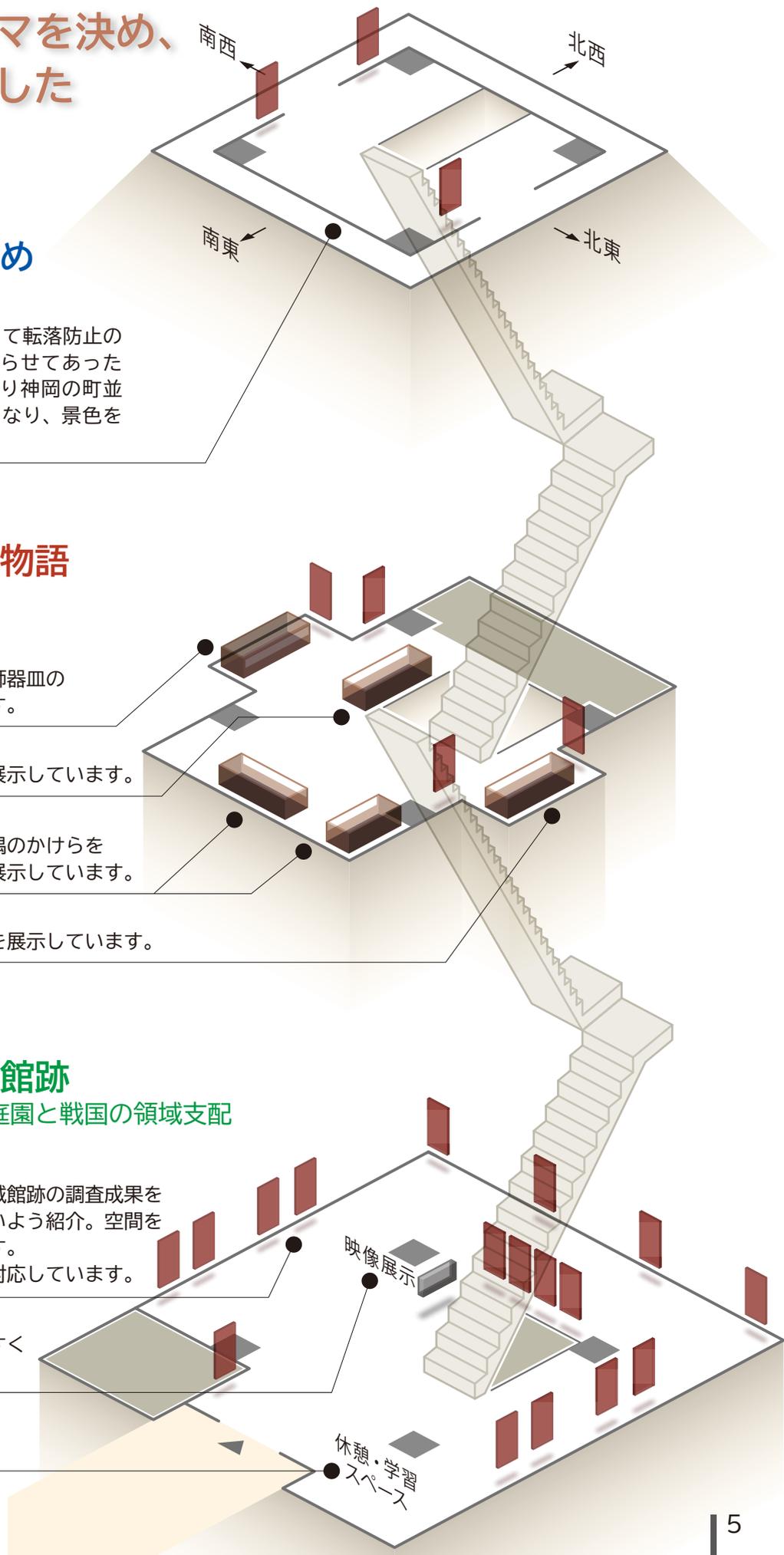
1階

江馬氏城館跡  
中世武士の庭園と戦国の領域支配

神岡町や江馬氏の歴史、江馬氏城館跡の調査成果を子どもから大人まで分かりやすいよう紹介。空間を広くとり、ゆったりと観られます。英訳も併記してインバウンドに対応しています。

学芸員が展示の内容を分かりやすく解説する動画を上映します。

ゆったりと調べ学習ができる休憩スペースができました。



## リニューアルに携わった方々にうかがいました

飛騨市教育委員会文化振興課  
学芸員

大下 永 さん



■今回担当された業務は？

今回のリニューアルについて全般を担当しました。

展示の構成や内容は学芸員3人で分担し、私は1階と3階を担当しました。

■リニューアルのコンセプトは？

神岡には中世に武将・江馬氏が築いた館や山城の跡が残り、全国的に見ても貴重な遺跡として国の史跡・名勝に指定されています。これらについて、50年以上にわたる調査成果を紹介する、ガイドス的な機能を果たす施設を目指しました。

■おすすめや見どころは？

日本の歴史の中で飛騨市や神岡の歴史を理解いただけるように工夫しました。例えば、神岡の歴史に特化した年表を一から調べて作成しました。

また、遺跡の価値を理解しやすいように国重要文化財に指定されている中世の絵画資料の画像を江馬氏館の解説に並べて表示しました。我々学芸員が展示内容を紹介する動画も見どころの1つです。

■神岡城にはどのような役割を期待しますか

飛騨市内の方、特に子どもたちに来ていただいて、自分が住む町の歴史を知っていただく場所になればありがたいです。

日本の歴史は学校で勉強しますが、この地域の歴史を学ぶ機会はありませんと感じていたので、社会見学等でしっかり学んでいただける場所になるようこだわりました。また、解説はすべて英訳を併記したので外国の方にも入っていただきやすい場所になりました。

ぜひ、この神岡城を起点に、実際に江馬氏館や山城を巡っていただければ幸いです。

株式会社M&Company  
代表取締役

白石 達史 さん



■今回担当された業務は？

展示パネルや映像の製作、英訳、空間設計、デザインなど全般にわたってスタッフやデザイナーさんと一緒に取り組み、私はその全体について構成や市役所との調整などを担当しました。

■リニューアルで大事にした点は？

今後10年後20年後にも陳腐化してしまわないよう、洗練されつつもオーソドックスなスタイルで長持ちするデザインを意識しました。同時に、地域の皆さんが今後利活用しやすいよう、拡張性のある空間になっています。

■製作でこだわった部分はどこでしょう？

展示物が壊れないように置く台座や、裏面も見えるように設置した鏡、テグスでの固定方法などについて展示物1つ1つが最適な見え方をするように、ミリ単位で調整しました。英訳についても、文化財の紹介の仕方を学びながら、学芸員の方や海外出身のスタッフと何度も何度も協議して仕上げましたので、海外の専門家が訪れても満足いただけると思いますし、テキスト自体に資産価値があるので、海外への発信など今後の活動に十分生かせるものになったと考えています。

■来場者の方へ見どころなどを教えてください

観光よりも博物館的なアプローチで作っているのが今回の大きな特徴です。全体的には学習的な要素が非常に高く、まずはゆっくり時間をとって1つずつ見ていただきたいですね。さらに空間としてきれいに仕上げたところと、博物館として知的好奇心を満足させられるところが、うまくバランスがとれていると思います。学習意欲の高い方にとりわけ喜んでいただける施設になったのではないのでしょうか。



神岡城リニューアルプロジェクトチームの皆さん

おすすめ!

リニューアルオープン記念として、5月31日まで入館が無料です。期間中は、史跡江馬氏館跡公園も合わせて入場無料ですので、この機会にご覧ください。

開館時間：9:00～16:30（入館は16:15まで）

問 文化振興課 ☎ 0577-73-7496